

2021年度大学入試特集

アンケート調査



超速報 全国の大学・短期大学へ21年度入試要項に関するアンケート調査実施 コロナ禍においても入試日程は63%、 選考方法は82%の大学が当初の予定より変更せず

6月19日(金)、文部科学省はコロナ禍による高等学校休校の長期化による学習の遅れなどに配慮した「令和3年度大学入学者選抜要項」を公表した。

【文部科学省「令和3年度大学入学者選抜要項」要旨】

①大学入学共通テスト(以下、「共通テスト」)

- ・従来の「本試→追試(本試の1週間後)」ではなく、特例的に「当初の予定どおりの第1日程(2021年1月16・17日)→第2日程(1月30・31日)→特例追試(2月13・14日)」を追加
- ・大学は高3で履修することの多い地歴、公民、理科の2科目指定を1科目に減らす、指定科目以外への科目変更を認める、など配慮
- ・大学は特例追試の受験者も、共通テストを利用する各入試に出願できるよう配慮

②各大学の独自入試

- ・総合型選抜の出願を9月1日⇒9月15日以降に後ろ倒し(他の選抜方法は当初予定どおり)
- ・新型コロナウイルス感染症等に罹患した受験生へ

の措置として、大学は必ず追試または振替を実施
・高3で履修が多い科目は、問題を選択できるようにするなど配慮
・教科書の「発展的な学習内容」は出題しない、あるいは注釈をつけるなど工夫
・調査書に臨時休業により3年次の評定が記載できない場合、高校は理由をつけて記載不可とすることができる
・資格・検定や大会等が中止、延期になったことで受験生が不利とならないよう配慮。特に総合型・学校推薦型では上記について努力のプロセスを評価する、ICTを活用する、など工夫

しかし、この入学者選抜要項の公表が例年より遅れたことで、各大学の独自入試要項の公表も遅らせる、あるいは変更する事態になっている。公表の期限は7月末日までとされているが、実際に各大学はどの程度上記の指針に沿って入試を行うのか、弊社では(事業拠点の無い北海道をのぞく)全国の大学・短期大学にアンケート調査を行った。

【調査概要】

調査目的

文部科学省が公表したコロナ禍による受験生への配慮を求めた「令和3年度大学入学者選抜要項」について、各大学はどの程度対応するのか、傾向を明らかにする。

調査方法

配布回収：FAXおよびインターネットによる

調査対象：北海道をのぞく全国の大学・短期大学
1,050校

調査時期：2020年6月22日～7月3日

回答枚数：446枚(回答率42.5%)

地域別回答数

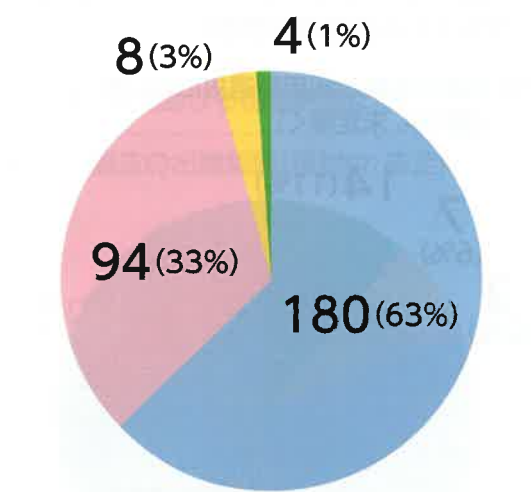
東北…24 関東…136 中部…81 近畿…106
中国…36 四国…9 九州…54

なお、回答締切日が各大学の入試要項公表期限前であったため、各設問に対して「検討中、未定」と回答する割合が平均して30%にのぼった。そのため、以下に示す集計結果は上記を省いたものであり、決定後に改めて集計した結果、傾向が変わる可能性があることを予めお断りしておく。

アンケート集計結果

(1)入試日程について、当初の予定からの変更はありますか。

(1)入試日程について(検討中、未定除く)



回答数=430(うち検討中、未定144)

- 全ての入試日程を当初の予定から変更しない(63%)
- 総合型選抜の日程のみ後ろ倒しにする(33%)
- 総合型・学校推薦型選抜の日程を後ろ倒しにする(3%)
- 全ての日程を後ろ倒しにする(1%)

●総合型選抜の後ろ倒しは3割強にとどまる

入試日程は一切変更しないという大学が6割以上となり、文科省の指針に従って総合型選抜の日程のみ後ろ倒しにする大学は3割程度にとどまった。ただし、「変更しない」としている中には、もともと総合型選抜の出願を9月15日以降としていた大学や、総合型選抜自体を実施していない大学なども

含まれる。

とはいえ、入試日程については既に募集要項を公表していた大学はもちろん、未公表の大学も、会場の確保や選考に携わる教職員のスケジュール、他大学の日程との兼ね合いなど、様々な観点から早い段階で日程を決めているだけに、当初萩生田光一・文部科学大臣が示唆した共通テストを含む全入試日程の後ろ倒し案に多くの大学が難色を示したとおりの結果となった。

●総合型選抜の実施回数や事前面談の回数を削減する大学も

総合型選抜の日程を後ろ倒しにしている各大学の要項を見てみると、後ろ倒しというよりも複数回実施するうちの第1回目の実施を取りやめ、第2回目の日程から実施する、あるいは、全2回実施を1回に集約するといった大学が見受けられた。昨今のAO入試は併願を認めるケースが増えていただけに、併願での出願を考えていた受験生はスケジュールの見直しを迫られることになりそうだ。

また、出願までに必須とされるオープンキャンパス参加時の面談や個別相談についても、2回行う予定を1回に、かつ、来校せずにビデオ会議システムを使用しての「オンライン面談」でも可とする大学もある。既に来校型のオープンキャンパスの多くはオンライン型に切り替わっているだけに、まだこのシステムに慣れていない受験生は、友人同士や高等学校の先生などと「オンライン面談」の練習をしておくことをおすすめする。

●共通テスト利用型選抜は出願期間延長の可能性あり

全ての入試日程を変更しないと回答していても、

大学入学共通テストの成績のみ、あるいは共通テストと独自試験の結果を組み合わせで合否判定する「共通テスト利用型選抜」については、前述のとおりコロナ禍による学習の遅れや罹患者に配慮した追加日程および特例追試日程が設定されたことで、従来の出願期間を延長する大学がある。例えば、武庫川女子大学(兵庫県)では、当初出願書類の受付締切日を1月28日(木)としていたが、出願登録および受験料入金締切を2月3日(水)に、書類締切を2月4日(木)に延長することで、1月30・31日に追加された共通テスト第2日程の受験者に配慮するほか、2月13・14日の特例追試受験者のみで別途合否判定を行うとしている。本原稿を執筆している7月13日の段階で同様の措置を取っている大学は殆ど確認できなかったが、共通テスト利用型選抜の出願期間を複数設定していない大学は今後変更される可能性もありそうだ。(2面に続く)

主な注目記事

- 1面～ 21年度入試要項に関するアンケート調査実施
- 4面～ グローバル系大学特集
 - 学長インタビュー 国際基督教大学(ICU)
 - 学部長インタビュー 東京外国語大学
 - 学部長メッセージ 上智大学
 - 教員インタビュー 学習院大学
 - 学長メッセージ 国際教養大学
- 9面～ 大学Pick Up関西 大阪経済大学
 - 大阪体育大学
 - 森ノ宮医療大学
- 13面 大学Pick Up九州 鹿屋体育大学/九州産業大学/福岡女学院大学
- 14面 大学Pick Up東海 愛知工業大学
- 15面 東京工科大学
- 16面 連載シリーズ「大学ism」 静岡産業大学